

開催日	催し物名・観覧時間	入場方法	主催者(問い合わせ先)
9月	8/29(火)～ 3(日) 第31回林忠彦賞受賞記念写真展 新田 樹 Sakhalin 観覧時間:10:00～18:00	第1展示室 無 料	三鷹市・三鷹市スポーツと文化財団 三鷹市美術ギャラリー 0422(79)0033
	8/29(火)～ 3(日) グループ写真展 私の好きなフォト 観覧時間:11:00～18:00(初日は14:00から、最終日は16:00まで)	第2展示室 無 料	OM SYSTEM ズイコークラブ東京支部 03(3933)1048 本橋
	5(火)～ 10(日) 第16回アトリエゆうえん展 観覧時間:11:00～17:00(初日は13:00から、最終日は16:00まで)	第1・2展示室 無 料	アトリエゆうえん 090(5414)5849 太田
	26(火)～ 10/1(日) マック展 観覧時間:10:00～18:00(初日は13:00から、最終日は17:00まで)	第1・2展示室 無 料	三鷹アートサークル 0422(37)0451 山中
10月	4(水)～ 8(日) 歌人玉城徹の文学活動 観覧時間:12:00～17:00(最終日は16:00まで)	第1展示室 無 料	玉城徹の活動展の会 070(5086)5648 遠山
	3(火)～ 8(日) 井の頭シャッタークラブ 第26回写真展 観覧時間:11:00～18:00(初日は13:00から、最終日は15:00まで)	第2展示室 無 料	井の頭シャッタークラブ 0422(46)1086 畑
	17(火)～ 22(日) 第6回墨海展 観覧時間:11:00～17:00(初日は13:30から、最終日は15:00まで)	第1展示室 無 料	墨海会 090(5498)8682 海野
	17(火)～ 22(日) 第3回 PHOTO「結」写真展 観覧時間:11:00～18:30(初日は13:00から、最終日は16:00まで)	第2展示室 無 料	PHOTO「結」 090(4201)0086 内田
	31(火)～ 11/5(日) 第70回三鷹市市民文化祭 美術展 観覧時間:10:00～18:00(最終日は16:00まで)	第1・2展示室 無 料	市芸術文化協会・三鷹市・市教育委員会 三鷹市美術連盟 0422(32)0236 尾本

企画展示

さよならだけが人生だ

— 太宰治、林芙美子へ、井伏鱒二の言葉

太宰治展示室
三鷹の此の小さな家

休館日 9月4、11、13、14、19、20、25日 10月2、10～12、16、23～27、30日

11月6、13、20、27日

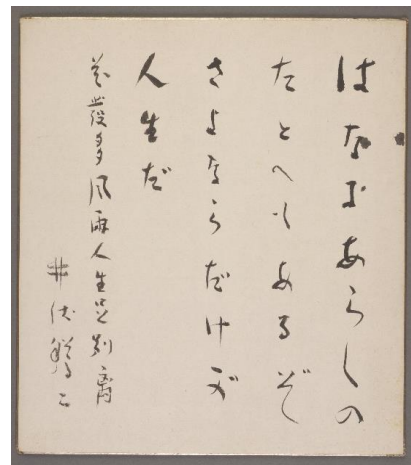
観覧時間 10時～18時 観覧無料

12月3日(日)まで開催中

太宰治(1909-1948)の依頼で『ヴィヨンの妻』初版の装幀・扉絵を手掛けた、「放浪記」で名高い作家 林芙美子(1903-1951)。太宰が中井(現 新宿区林芙美子記念館)の芙美子邸を訪れた日の出来事は、『太宰治との七年間』に堤重久が記しています。また、昭和23年(1948)に発表した「眉山」では、知人の男性洋画家を「林芙美子先生」と紹介する場面があります。文壇の大先輩の名を、職業も性別も全く異なる設定で用いた大胆不敵な創作に、太宰独特のユーモアと、芙美子への親しみが感じられるでしょう。

直接的な交流の機会こそ少なかった2人ですが、芙美子が慕った作家が井伏鱒二(1898-1993)で、太宰が肉親同様に世話になった師でもあります。太宰は昭和5年から師事していますが、井伏と芙美子は既にその数年前から交流を育んでいます。井伏は芙美子を旅に誘い、芙美子を「旅人で 詩人で 傑作書きで」と親しみを込めて表しています。昭和23年(1948)6月に太宰が、その3年後に芙美子も急逝。その作家人生はまさに、芙美子が好んでよく認(した)ためた「花のいのちはみじかくて 苦しきことのみ多かりき」を体現するかのようには、はかなきものでした。そして、芙美子との旅の道中に「さよならだけが人生だ」という訳詩を生んだ井伏は、数々の別離(「さよなら」と向き合いながら、95年の天寿を全うしました。

本年は林芙美子の生誕120年。井伏鱒二の言葉を鍵(キーワード)に、太宰と芙美子の交流を振り返ります。会期中、林芙美子生誕120年記念スタンプラリー(新宿区と協働イベント)を開催しています。奮ってご参加ください。



井伏鱒二色紙 制作年不詳 津島家寄託

- この催し物案内は、2023年8月20日にとりまとめたものです。内容、期間、時間、入場方法等は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 各催し物の詳細については、主催者までお問い合わせください。